

総務教育常任委員会資料

(平成21年6月25日)

〔件名〕

- ・大韓民国江原道 金振兢知事への鳥取県名誉県民顕彰の贈呈
について【総務課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・平成21年度鳥取県部落解放月間について【同和対策課】・・・・ 2
- ・「ふるさと雇用再生特別交付金事業」を活用した販路開拓
の推進について【関西本部】・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ・関西圏で実施する各種情報発信について（夏）【関西本部】・・・・ 4

総 務 部

大韓民国江原道 金振旿知事への鳥取県名誉県民顕彰の贈呈について

平成21年6月25日

総務課

1 概要

鳥取県と韓国江原道との友好交流をはじめ本県を含む北東アジア地方政府のネットワークの構築への尽力により、鳥取県の国際的な地位向上に多大な寄与をされた大韓民国江原道の金振旿知事を鳥取県名誉県民として顕彰することとした。

2 贈呈理由

- ① 鳥取県と江原道とは今年友好提携15周年を迎えることになるが、金振旿知事はその先頭に立って幅広い分野で積極的に交流を推進され、両地域の交流は日韓自治体交流のモデルと言われるほどに活発なものとなった。
- ② 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット、東アジア地方政府観光フォーラムなどアジア地域における国際的ネットワーク構築を提唱、推進され、そのことが本県を含む地域間交流の活発化と地域の国際的な地位向上につながった。
- ③ ①②等が基礎となり、山陰で唯一の国際定期航空路線、日本―韓国―ロシアを結ぶ国際定期貨客船の就航に結びついた。

3 贈呈式

日本・韓国・ロシア定期貨客船航路 就航記念行事内（現在調整中）

4 鳥取県名誉県民制度について

- (1) 根拠 鳥取県名誉県民規則（平成21年6月10日公布施行）
- (2) 目的 県の発展に顕著な功績があった外国人に対し、鳥取県名誉県民の称号を贈り、その功績を顕彰する
- (3) 対象 公共の福祉の増進、経済の発展、交流の促進、学術又は文化の振興その他県の発展に貢献し、その功績が特に顕著な外国人であって、知事が適当と認めるもの
- (4) 創設趣旨 県の発展に功績があった者に対する顕彰制度には、県民榮譽賞（平成4年創設）と県民功績賞（平成8年創設）があるが、いずれの賞も県民（県内に居住していた者を含む）が対象となっており、外国人を対象としたものはない。
環日本海交流をはじめ国際交流が盛んになる中で、外国人で本県の発展に多大な功績を挙げている者もあり、これを讃えることは県民意識に沿うものであるとともに、国際社会における鳥取県の地位を高めることに資するものである。
- (5) 選考 各部局長からの推薦を受けて、知事が決定。その際、必要に応じて名誉県民選定審査会（幹部会議構成員で構成）に諮ることができる。

5 その他

大韓民国江原道からは西尾邑次元鳥取県知事に対して名誉道民顕彰が、片山善博前鳥取県知事には功労盾がそれぞれの御退任の年に贈られている。

平成21年度鳥取県部落解放月間について

平成21年6月25日
同 和 対 策 課

同和問題の解決は、国及び地方公共団体の責務であると同時に国民的な課題です。
本県では、昭和45年度から県独自の取組みとして部落解放月間を設けており、この期間中、同和問題への県民の理解と認識を深めるため、県や市町村、関係団体等が連携して、啓発活動を集中的に実施します。

記

- 1 期 間 7月10日(金)から8月9日(日)まで
- 2 主 催 鳥取県、鳥取県教育委員会、市町村、市町村教育委員会
- 3 協 賛 鳥取地方法務局、(社)鳥取県人権文化センター、鳥取県人権教育推進協議会、鳥取県隣保館連絡協議会
- 4 テ ー マ 「みんなの願い 差別のない社会 人権尊重の社会」
- 5 啓発活動
 - (1) 広報
県政だよりや市町村広報紙、ポスター・リーフレット、街頭啓発活動などで部落解放月間の趣旨及び期間中の開催事業等の周知を図る。
 - (2) 講演会等開催
部落解放月間を中心に、県や市町村等が、県民を対象とする講演会やシンポジウムなどを開催する。
 - (3) 県の実施事業
 - ア 街頭啓発活動
 - 日 時 7月4日(土) 11:30～12:30
 - 場 所 ジャスコ鳥取北店、倉吉未来中心、ジャスコ日吉津店
 - 参加団体 鳥取県、協力市町村、関係団体等
 - 内 容 部落解放月間のテーマ等を記載した啓発グッズを配布し、同和問題の早期解決を訴える。
 - イ 同和問題講演会
 - 日 時 7月24日(金) 14:00～15:30
 - 場 所 ハワイアロハホール(湯梨浜町はわい長瀬)
 - 内 容 「新しい視点から同和問題を考える」
講 師：石 元 清 英さん(関西大学社会学部教授)
 - 主 催 鳥取県、倉吉市同和対策推進協議会、東伯郡同和対策協議会

<参考>

同和問題に係る差別事象

県内で発生した差別事象は、過去3年間では年平均で約8件、県に報告されている。

【最近の事例】

- ・公衆トイレ等への差別落書き
- ・個人を誹謗中傷する差別文書のばらまき
- ・電話による地区の問い合わせ

「ふるさと雇用再生特別交付金事業」を活用した販路開拓の推進について

平成 21 年 6 月 25 日

関 西 本 部

1 事業名

関西圏販路開拓推進事業

※ この事業は「鳥取県ふるさと雇用再生特別基金」を活用して実施する事業です

2 事業期間

平成 21 年 4 月 16 日～平成 22 年 3 月 31 日

3 事業費

6, 142 千円

4 事業の概要

グレーター近畿への加入（平成 20 年）、姫鳥線の県内開通（平成 21 年度）、
「'09 食博覧会・大阪」の開催等、鳥取県産物を関西圏に売り込む絶好のチャン
スであり、社団法人鳥取県物産協会に業務委託を行ない、販路開拓マネー
ジャーを関西本部に配置し、販路拡大に取り組む。

5 雇用創出人数

1 名

6 主な業務内容

- ・ 関西圏の量販店、外食産業に対して鳥取県の食材に関する情報提供、商
品提案等鳥取県産品の販路開拓
- ・ 量販店、外食産業のニーズ把握、他地域の取組みなどの情報収集
- ・ その他鳥取県物産の販路開拓支援のための業務

【参考】

- ・ ふるさと雇用再生特別交付金事業の概要

鳥取県ふるさと雇用再生特別基金（財源：国 10 / 10）を活用した事業により、継
続的雇用機会の創出を図るもの。当初予算額（県実施分）9 億円。

関西圏で実施する各種情報発信について（夏）

平成21年6月25日

関 西 本 部

当本部では、適切な時期・内容・場所に情報を提供すべく各種取り組みを行っているが、この度は主に夏の情報を中心に発信する。

今後も本県の認知度を高めていくと共に、関西圏の生の情報を県内に伝えていく。

記

1. NHK大阪放送会館で実施するイベントについて

主に大阪の方を中心に本県の情報（文化・観光・物産）をPRするため下記の日程でイベントを実施する。当該イベントは平成15年度から継続して実施しているものであり、毎年テーマを変え本県の魅力を発信している。

本年度のテーマは、「みんなとっとりを楽しもう！ハートフル鳥取キャラフル鳥取」とした。子どもの方を対象に県内の遊びを体験していただき、本県の認知度を高めると共に、最終的には誘客促進に繋げたい。

- ・主 催：関西本部
- ・日 時：7月17日～21日 10時～17時
- ・会 場：NHK大阪放送会館 アトリウム ほか
- ・内 容：体験コーナー（因州和紙折紙、押し花、移動水族館、カニの甲羅投げ 紙芝居 等）
パネル展示、ステージイベント
- ・協 力：さじアストロパーク、とっとり賀露かにっこ館、わらべ館、県観光事業団
県内各市町村

2. 在阪ホテルにおけるサマーパーティープラン「食のみやこ鳥取県」フェアの開催について

本県の食材を使用したサマーパーティープラン「食のみやこ鳥取県」フェアが開催される。

ホテルシェフが本県の旬の食材を生かして、一品ごとに工夫を凝らした夏の特別メニューが提供される。当該プランのパンフレットには本県の観光情報などを掲載して貰い、県産品と観光のPRを図っている。

- ・実施主体：ホテル大阪ベイトワール（協力：関西本部）
- ・期 間：平成21年7月1日（水）～9月30日（水）
- ・場 所：ホテル大阪ベイトワール（大阪市港区弁天町）
- ・内 容：夏のパーティープラン（税・サービス込8,000円）フリードリンク付き
- ・使用食材：鳥取牛、大山希望味鶏、東郷湖産シジミ、笹ガレイ、ハタハタ、らっきょう、大山牛乳他

※立食スタイルは30名様以上、着席スタイルは10名様以上から承り